

# 地域のヒーロー

～守りたいものは、あるか～

安曇野市  
消防団  
広報紙

第5号 2021.9.15

消防団には皆さんの力が必要です！ 女性団員も歓迎！

# 団員募集



私たちが住むまち安曇野では、近年、生活環境の変化に伴って、災害形態は複雑化、大規模化の傾向にあります。このような中で、地域にもっとも身近な防災機関である「消防団」の活動は、ますます重要になっています。

「自分たちの地域を自分たちで守りたい——」

そんな思いがあれば、誰でも消防団に参加できます。あなたも地域防災の要となる消防団員として活動してみませんか。

## 安曇野市消防団

お申込み・お問合せ  
安曇野市 総務部 危機管理課  
電話：72-6769(平日9:00~17:00)



消防団って何？



女性消防隊指揮広報車！

新車両配備！

## ■女性消防隊に新車両が配備されました!

安曇野市消防団女性消防隊は、指揮広報車に乗り市内全域で火災予防広報を毎週行っています。

私たちの活動で、1件でも火災を防ぐことが出来たら・・・ そんな想いで活動している「まちの見守り隊」です。

消防団といえば、主に男性が活躍するイメージがある中、女性消防隊では、地域や大切な人を守るために、広報活動のほか応急手当の普及活動や普段の生活では経験できない体験など、年齢に関係なく集まり活動しています。

私たちと一緒に活動してみませんか？

お出かけ前にもう一度、火の元の確認をお願いします!



(車：トヨタ ルーミー)

## ■音楽喇叭隊 吹奏訓練



安曇野市消防団音楽喇叭隊は、出初式をはじめとした消防団行事や地域の各種イベントなどで、演奏活動を通じて、防火・減災のための予防広報を行っています。

本来ですと、松本消防協会のラップ吹奏大会、安曇野花火や吹奏楽と消防ラップのコンサートでの演奏など、活動が盛んになる時期ですが、ここしばらくは新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、思うような活動がなかなかできない状態が続いています。

そのような中で、演奏能力の維持向上を図りつつ、演奏活動を円滑に継続するため、長野県新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベルを参考に、団員や団員の家族に不安を与えないよう、手指消毒の徹底、換気、3密を避けるなどの基本的な対策に加え、飛沫感染を防ぐため、可能な限り屋外練習とし、団員間は十分な距離をとり、対面を避けるなど、様々な制約の下で「量より質」の訓練に励んでいます。

今年度も残り半分ですが、再び様々なイベントで演奏ができることを楽しみにしています。

## ■ポンプ操法大会 代替訓練

第4分団では、令和2年度に引き続き、本年度も中止となったポンプ操法大会の代わりに、分団内で編成した2チームによる操法技術習得の訓練を行いました。

大会のような点数形式ではなく、実際の火災現場に即した動きや安全面を考えた独自の内容で、毎週土曜日の早朝に行いました。

訓練期間中は怪我もなく、参加した団員の技術が向上し、誰もが訓練の成果を感じています。また、多くの団員が毎週顔を合わせることで、今まで以上に絆が深まっています。

7月31日には、お披露目の場を設け、2チームが習得したチームワークや技術力など訓練の成果を披露しました。



# ■消防団の家族へインタビュー

## 消防団のイメージは、地元の強面(コワモテ)が集まっている 体育会系の集団でこわそう。集まりや飲み会也多そう。

### ●夫が消防団員であることについて

農家が消防団に入るのは必然の流れなんだろうなと入団した時に思いました。本人が誇りを持ってやっているようなので基本的には応援しています。ポンプ操法大会のときには特に張り切っていたので、その辺は趣味の範囲として楽しそうだからいいかと思っただけでもあります。

移住者なので、地域に溶け込むよう努めなければという思いもあるので、その点では入団して良かったと思います。妻の立場としても知り合いが増えたり話題のきっかけになったり、地域との繋がりを実感できる機会が増えました。

ボランティアと言ってしまうとそれまでですが、「面倒臭い」、「なんで我が家が」「意味があるのか」などの損得勘定やマイナスなイメージでは捉えたくないという妻の意地みたいなものも、なんとなくあります。

### ●普段の消防団活動について

インターネットで「消防団 家族」と検索すると、次にヒットしたワードは「犠牲」でした(笑) 確かに家事や育児でバタついてる夜に、ポンプ操法の動作をしながら部屋を出ていく様を見た時にはイラッとしたときもあります。

そういう時には「消防は夫の趣味なんだ」と捉えて、こちらも夫不在の時間を楽しむように努めています。子どもと美味しいものを食べた

り、思いきりダラダラしたり…

土日や夜の集まりに何も思わないわけではないですが、火災のときの活躍には頭が下がるのは事実なので、送り出す方としては大らかな気持ちでいたいと毎度自分に言い聞かせています。

### ●火災現場で活動している消防団員を見て

最近、ごく近所で火災がありました。その際にとってもお世話になりました。

「ぜん(＝夫)の家を燃やさないぞー！」と声をかけながらさびきびと動く消防団員の方たちの姿には涙が出そうになりました。ありがたさが身に染みみました。

火災は起こらない方がよく、また、火災現場を見なくて済む方がいいはずですが、いざというときに消防団はすごく頼りになる存在なんだと感じました。ありがたうございました。

### ●入団する人がどうやったら増えるか？

不要な集まりや会議は極力減らす。団の雰囲気や団員の人柄にもよりますが、会議や警戒、訓練などの活動を強要することをなくす。このあたりは既に実施されていると思いますが、そういういった姿勢であることを周知していくことが大切だと思います。

同居する家族がいる場合は、家族の理解が必須だと思います。なので、家族で消防団を理解し、ポジティブに捉える機会があればいいと思

います。消防団の家族の交流イベントなど。ママ友同士で愚痴を言い合って昇華することも実際あります。ポンプ操法大会については賛否両論あると思いますが、このときのチームで妻同士も交流を深めました。

移住者にとっては入団することが家族共々地域に馴染むチャンスになるため、これも広く伝えていければいいのではと思います。移住者は大変かもしれませんが消防団に入って損はないと思います。

最近では予想を超える災害が多いので、防災に対する意識は世間的にも高まっていると思います。防災マップをもとに災害時の行動を一緒に考える機会など、防災についても消防団が深く関わっていることを実感できれば興味を持つてもらえるのではないのでしょうか。



#### 【プロフィール】

古田 然 (ふるた ぜん)  
2010年 JAグループに就職。  
2014年 もっと地域に根差した生活・仕事を求めて退職。地元安曇野市のりんご生産者のもとで研修を始める。  
2017年 3年間の研修を経てりんご生産者(式七農園)として独立。

■ 団員インタビュー



第13分団第3部 団員  
猿田 茂希さん

**Q** 消防団に入ったきっかけを教えてください。  
**A** 詰所の外を通った時にワイワイと楽しそうに会話をしていたので、気になっていました。そんな中、地域のお祭りで消防団員とお話する機会があり、誘ってもらったことがきっかけです。

**Q** 実際入ってみて楽しかった事がありますか？  
**A** なんととっても友人が増えて楽しいです。また、ポンプ操法大会に向け、みんなで情熱を持ち、一致団結して取り組んだことは、他ではなかなか経験できないことなので、本当に充実して楽しかったです。他にも仲間との飲食や研修旅行も楽しいです。



**Q** 消防団活動と仕事の両立はいかがですか？  
**A** ポンプ操法訓練期間中は体力的に厳しいときもあります。私は農家ですが、夜警や訓練などは問題なく参加できています。災害時は出動できる時は出動するように心掛けています。出動回数も多くないので負担ではありません。

**Q** 現在、彼女募集中ということですが、好みの女性のタイプを教えてください。  
**A** 深田恭子さんです。(笑)

**Q** これから消防団に入ろうと考えている方にメッセージをお願いします。  
**A** 知らない人の中に入ることが難しい人もいるかもしれませんが、みなさん気さくで、どんどん話しかけてくれます。新入団員のことも気にかけてくださるので安心してください。

友人を増やすくらいの気持ちで気楽に入ってもらいたいと思います。訓練や出動などがあり、仕事や家族のことを気にする方もいるかもしれませんが、みんなで協力して、無理はせずに出られる人が出るなどの体制で活動していますので、気楽に入ってもらいたいと思います。「是非、消防団に入って一緒に楽しみたいですよ！」

入団4年目の猿田団員は、地域の活動にも積極的に参加し、今後の活躍に期待の青年です。

■ 現役団員の職業紹介

～世代や職業を超えて活動する中で、仲間との絆が私たちの力になっています～

【所属分団】 第6分団  
 【氏名】 山下 賢静  
 【団歴】 11年  
 【職業】 僧侶  
 【休日】 不定休  
 【勤務時間】 24時間  
 【コメント】

消防団活動は消火活動はもちろんではありますが、地元地域との繋がりの中で活動、作業する事が大切だと思います。「地域に根差した、より良い活動を」と心掛けています。

【所属分団】 第7分団  
 【氏名】 小林 功  
 【団歴】 17年  
 【職業】 機械設計  
 【休日】 土日祝  
 【勤務時間】 8:30～17:30  
 【コメント】

火災や自然災害はいつ発生するか分かりません。どんな状況下でも落ち着いて迅速かつ適切に行動できるよう、訓練や実際の災害現場で経験してきた事を忘れないようにと心掛けています。

【所属分団】 第8分団  
 【氏名】 望月 司  
 【団歴】 8年  
 【職業】 製造業  
 【休日】 土日  
 【勤務時間】 日勤 8:30～16:45  
 夜勤 16:30～0:45  
 【コメント】

仕事勤務中などに消防メールや気象情報、停電、行方不明者メールなどを確認して、何時でも出動出来るように心掛けています。また、電話にも出られるようにしています。